



平成30年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年3月12日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東  
 コード番号 7983 URL <http://www.miroku-jp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弥勒 美彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 古味 俊雄 (TEL) 088-863-3310  
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月16日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第1四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第1四半期	3,185	1.2	330	10.1	375	11.3	263	20.0
29年10月期第1四半期	3,148	18.6	300	124.1	337	205.5	219	287.8

(注) 包括利益 30年10月期第1四半期 207百万円(△26.7%) 29年10月期第1四半期 283百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第1四半期	18.11	—
29年10月期第1四半期	15.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第1四半期	15,693	12,178	77.6
29年10月期	16,073	12,030	74.8

(参考) 自己資本 30年10月期第1四半期 12,178百万円 29年10月期 12,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	4.00	—	4.00	8.00
30年10月期	—	—	—	—	—
30年10月期(予想)	—	4.00	—	20.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成30年5月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年10月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年10月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円00銭となり、1株当たり年間配当金は8円00銭となります。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,330	△2.9	470	△29.3	540	△27.9	370	△24.1	25.47
通期	12,350	△1.6	800	△27.9	930	△25.8	640	△33.7	220.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年10月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年10月期1Q	15,027,209株	29年10月期	15,027,209株
② 期末自己株式数	30年10月期1Q	500,095株	29年10月期	499,356株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年10月期1Q	14,527,643株	29年10月期1Q	14,533,305株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成30年1月30日開催の第86回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年5月1日を効力発生日として、普通株式を5株につき1株の割合をもって株式併合を実施することとしております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施する予定です。

なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年10月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年10月期の配当予想  
1株当たり配当金 第2四半期末4円00銭 期末4円00銭 年間配当金合計8円00銭
2. 平成30年10月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 第2四半期(累計)25円47銭 通期44円05銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外において一部不安定な政治情勢等リスクの高まりが懸念されるなど、国内景気に影響を与えかねない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,185百万円(前年同期比1.2%増)、経常利益は375百万円(前年同期比11.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は263百万円(前年同期比20.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 猟銃事業

上下二連銃の販売数量は前年同期並みであったものの、ボルトアクションライフル銃の販売が伸びず販売総数量は前年同期を下回りました。しかしながら、付加価値の高い製品の販売が引き続き堅調に推移したことや、前年度末出荷予定の製品が天候不良により当期に持ち越されたことなどから、売上高及び利益とも前年同期を上回りました。その結果、売上高は2,025百万円(前年同期比3.7%増)、セグメント利益(営業利益)は259百万円(前年同期比15.7%増)となりました。

#### ② 工作機械事業

機械部門の販売台数が前年同期に比べ減少したことから、売上高は前年同期を下回りました。利益面においては、加工部門が順調に推移したことから、前年同期並みの水準を維持しました。その結果、売上高は564百万円(前年同期比9.9%減)、セグメント利益(営業利益)は136百万円(前年同期比2.9%減)となりました。なお、売上高につきましては、セグメント間の内部売上高7百万円を含んでおります。

#### ③ 自動車関連事業

純木製ステアリングハンドルの販売数量は前年同期を若干上回ったものの、3Dドライ転写ハンドルの販売数量は前年同期を下回りました。このような中、付加価値の高い製品の販売が堅調に推移したことや新製品の生産がスタートしたことなどから、売上高及び利益とも前年同期を上回りました。その結果、売上高は602百万円(前年同期比5.3%増)、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同期比68.0%増)となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,121,010	1,665,573
受取手形及び売掛金	1,789,473	1,787,701
たな卸資産	3,540,487	3,762,878
その他	505,641	563,300
貸倒引当金	△719	△402
流動資産合計	7,955,892	7,779,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,473,090	1,457,547
機械装置及び運搬具(純額)	1,234,326	1,220,926
土地	1,687,995	1,687,995
その他(純額)	169,518	161,387
有形固定資産合計	4,564,931	4,527,857
無形固定資産		
のれん	33,983	25,487
その他	73,033	65,152
無形固定資産合計	107,017	90,640
投資その他の資産		
投資有価証券	2,863,024	2,776,598
その他	596,014	532,768
貸倒引当金	△12,987	△12,987
投資その他の資産合計	3,446,051	3,296,378
固定資産合計	8,118,000	7,914,876
資産合計	16,073,892	15,693,927

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,149,113	1,168,887
未払法人税等	244,850	115,288
賞与引当金	133,861	191,558
役員賞与引当金	41,440	8,103
その他	762,419	340,613
流動負債合計	2,331,684	1,824,450
固定負債		
長期借入金	700,000	700,000
役員退職慰労引当金	142,207	136,990
退職給付に係る負債	556,808	573,281
その他	312,853	280,706
固定負債合計	1,711,868	1,690,979
負債合計	4,043,553	3,515,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	519,703	519,703
利益剰余金	10,127,187	10,331,144
自己株式	△78,582	△78,922
株主資本合計	11,431,435	11,635,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563,196	514,251
為替換算調整勘定	35,707	29,193
その他の包括利益累計額合計	598,903	543,445
純資産合計	12,030,339	12,178,497
負債純資産合計	16,073,892	15,693,927

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)
売上高	3,148,625	3,185,169
売上原価	2,534,301	2,549,596
売上総利益	614,324	635,573
販売費及び一般管理費	313,697	304,657
営業利益	300,626	330,915
営業外収益		
受取配当金	9,741	10,149
持分法による投資利益	15,428	18,096
その他	13,925	17,743
営業外収益合計	39,095	45,989
営業外費用		
支払利息	1,238	683
その他	722	355
営業外費用合計	1,961	1,038
経常利益	337,760	375,866
特別利益		
受取保険金	—	13,048
特別利益合計	—	13,048
特別損失		
固定資産除却損	—	2,379
特別損失合計	—	2,379
税金等調整前四半期純利益	337,760	386,535
法人税等	118,439	123,438
四半期純利益	219,321	263,097
親会社株主に帰属する四半期純利益	219,321	263,097

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益	219,321	263,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,634	△51,487
為替換算調整勘定	7,205	△3,501
持分法適用会社に対する持分相当額	23,140	△469
その他の包括利益合計	63,980	△55,458
四半期包括利益	283,301	207,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,301	207,638



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,952,882	622,339	572,294	3,147,516	1,109	3,148,625	—	3,148,625
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,754	—	3,754	—	3,754	△3,754	—
計	1,952,882	626,093	572,294	3,151,270	1,109	3,152,379	△3,754	3,148,625
セグメント利益	224,500	140,837	2,179	367,518	314	367,832	△67,206	300,626

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△67,206千円には、セグメント間取引消去732千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△67,938千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,025,230	556,327	602,503	3,184,060	1,109	3,185,169	—	3,185,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,706	—	7,706	—	7,706	△7,706	—
計	2,025,230	564,033	602,503	3,191,767	1,109	3,192,876	△7,706	3,185,169
セグメント利益	259,765	136,812	3,661	400,239	314	400,553	△69,638	330,915

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△69,638千円には、セグメント間取引消去616千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△70,255千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。